

第7回秦野市伊勢原市環境衛生組合クリーンセンター 施設検討委員会議事録要旨

1 日 時 平成 20 年 8 月 18 日（月）午後 2 時 00 分～午後 4 時 30 分

2 場 所 秦野市保健福祉センター 第 4 会議室

3 出席者

(1) 委 員

ア 組合議会 三竹委員、宮坂委員

イ 学識経験者 横田委員長、野間委員、吉羽委員、内田委員、栗原委員、
荒井委員

ウ 行政職員 高橋（生）副委員長、野沢委員、猪股委員、
高橋（昌）委員、佐野委員、石川委員

(2) 事務局

ア 秦野市 環境産業部清掃事業所長

イ 伊勢原市 経済環境部環境美化センター所長

ウ 秦野市伊勢原市環境衛生組合 （工場長、施設計画担当専任技幹、
施設計画課長他）

エ （財）日本環境衛生センター

(3) 傍聴者 10名

4 内 容

(1) 本日の議題、「処理方式について」、「委員会等スケジュールについて」は公開にて実施した。

(2) 処理方式について

- ・ 処理方式については、第 5 回委員会から継続的に議論を重ね、前回委員会では「ストーカ式焼却方式」を加えたいという事務局からの提案に対し、他の焼却方式についても加えるべきではという意見があったことから、既に選定された 2 方式（焼却・熔融）の他に、灰の資源化を民間委託することを前提とした焼却システムのうち、「回転炉式焼却方式」を除く「ストーカ式焼却方式」と「流動床式焼却方式」の 2 方式を加えることについて事務局より提案した。

- ・ 第一段階として、方式を追加するかどうか。第二段階としてどの方式を加えるか。という二段階に分けて議論した方がよいとの意見があった。

- 本委員会は、事業方式や発注方法を検討する委員会であることから、委員会設置要綱の中で事業方式に処理方式の選定も含めて議論することができるか、委員会で確認した上で進めた方が良いとの意見があった。
- そもそも、この委員会は事業方式、発注方法を議論する委員会であることから、事業方式に処理方式の選定も含まれるかどうかというところになるのではないかと意見があった。
- 委員長より、本委員会は、要綱にある事業方式、発注方式の選定が課せられており、その事業方式の中に処理方式の選定も含めるという解釈でよろしいか。との問いかけに対し、委員より「異議なし」との発言があり、本委員会において方式選定ができることを確認した。
- 事務局より、前回の委員会で、「ストーカ式焼却方式」を加えることを提案し、今回、公平性、透明性の観点から新たに「流動床式焼却方式」も加える提案をしましたが、技術的な面で流動床式が不適合であると判断されれば、その意見は尊重したいと説明した。
- 「流動床式焼却方式」は、最近の実績がなく、この段階で選択する必要はない。実績のあるストーカ式だけを追加すれば良いのではないかとこの意見があった。
- 「流動床式焼却方式」の場合、燃焼速度が速く、燃焼が安定しない。問題はごみの供給と燃焼制御をどうするかであり、メーカーによる技術格差がある。「流動床式焼却方式」の欠点は、「流動床式ガス化熔融方式」にも言えるとの意見があった。
- 確実な安定的技術を持った方式を選ぶべきであって、「流動床式焼却方式」を加える必要はないと思うとの意見があった。
- 技術的な問題は今後の技術審査において、施設の安全性、安定性、効率性等を確保することはできるのだから、入口から絞ることはせずに競争性を確保する意味からも窓口は広くしておいた方が良いのではとの意見があった。

- ・ 国の方針として、処理方式や機種をできるだけ限定しないとしているので、「流動床式焼却方式」を候補とするのも一つの方策ではないかとの意見があった。
- ・ 委員長より、技術的には技術審査の段階で審査することができるので、「流動床式焼却方式」も加えるということで宜しいかとの問いかけに対し、個人的に外すべきと考えるが委員会としての考えに従うとの意見があり、その他、特に異論がなかったため、「ストーカ式焼却＋灰熔融方式」、「流動床式ガス化熔融方式」に、「ストーカ式焼却方式」及び、「流動床式焼却方式」を加えることの結論に達した。

(3) 委員会等スケジュールについて

- ・ 全体スケジュールとでアセスとの関係はどうかとの質問に対し、現在、予測評価書案の作成段階であり、11月に神奈川県に提出したい旨の回答をした。

(傍聴者退席)

(4) 技術評価について

- ・ 単純焼却方式において、資源化の対象となる物やその費用、最終処分する対象物について意見交換された。
- ・ 評価基準において、費用算出等するための期間について意見交換され必要な見直しをすることとなった。

(5) 入札説明書等について

- ・ 落札者決定基準の価格要素と非価格要素の割合、価格要素の計算方法等について、議論され価格要素の割合、計算方法が決定した。

(6) その他

- ・ 第8回委員会の開催については、平成20年10月17日（金）午後2時から、場所は秦野衛生センター会議室とする。
- ・ 会議の公開については、「発注仕様書の検討」等を予定しており、公平性確保の観点から非公開で開催する。